**2017 年 10 月 改訂(第 4 版)(新記載要領に基づく改訂)
*2014 年 1 月 改訂(第 3 版)
医療機器認証番号 20300BZZ01007000

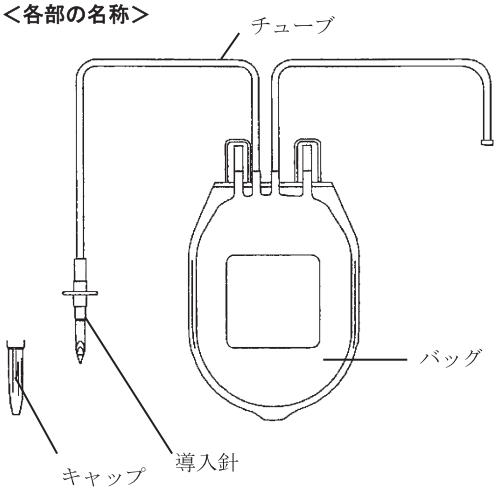
機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器 血液成分分離バッグ JMDN コード 70357000
カワスミ分離バッグＰＯ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
1. 再使用禁止
2. 本品は、血小板製剤専用の保存容器である。それ以外の用途には使用しないこと。[破損のおそれがある]

＊【形状・構造及び原理等】

＜各部の名称＞



上記は代表例(KBP-1000CP)である。

品番	規格・容量
KBP-1000CP	シングルバッグ 1000mL
KBP-106DCP	ダブルバッグ 親バッグ 1000mL、子バッグ 600mL
KBP-666TCP	トリプルバッグ 親バッグ 600mL、子バッグ 600mL, 600mL

本品は、本体部にポリオレフィンを使用している。
また、本品のチューブ部、ダブルバッグ、トリプルバッグの子バッグには、ポリ塩化ビニル（可塑剤:フタル酸ジ 2-エチルヘキシル）を使用している。導入針にアクリロニトリルブタジエンスチレンを使用している。エアーベントフィルターは、本体にポリカーボネートを、フィルターにポリテトラフルオロエチレンとポリエチレンテレフタレートを使用している。

【使用目的又は効果】

本品は、血小板製剤を分離、保存、処理、輸送又は投与するための容器として使用する。

【使用方法等】

使用方法には種々の方法があり、以下はその一例である。
1. 本品を接続して調製を行う血液製剤を準備する。
2. 使用期限内であることを確認の上、使用直前に本品が汚染されないよう包装から取り出す。
3. 導入針のキャップを外し、調製を行う血液製剤の輸血口に突き刺す。
4. 分離スタンド等の適当な器具を用いて血液製剤から目的の血小板成分を押し出し、本品に移送する。
5. 血小板成分移送終了後、チューブをチューブシーラーでシールし、余分なチューブを切り離す。
6. 小分けする場合は、血小板成分を必要量第二、第三バッグに移送し、必要に応じて必要事項をラベルに記入する。
7. 採取した血小板成分に適した温度で保存する。

【使用上の注意】

重要な基本的注意
1. 接続用プラスチック針にキャップをつける際には、誤刺に注意し、慎重に行うこと。
2. 本品は、ポリ塩化ビニル製のチューブ、子バッグから可塑剤であるフタル酸ジ 2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので、注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光・紫外線・高温多湿を避けて保存すること。

****＜有効期間＞**

有効期間は自己認証（当社データ）による。
使用期限は外箱表示参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

川澄化学工業株式会社
TEL 03-5769-2600